



にじいろだより



多久市ファミリー・サポート・センター

令和5年8月発行

申し込み・お問い合わせ 火～日曜日 9時～17時

☎0952-75-5111



今年は、梅雨から例年と違う気候が続き、雨の多い7月でしたね。8月は暑さが戻ってきます。熱中症対策として水分補給をしっかりとって暑い夏をみなさんと乗り切りましょう！

7月の養成講座の報告

ご参加いただいたみなさん
ありがとうございました♪



第4回「里親制度」

講師：児童養護施設 聖華園 土坂 典寿 氏

5日(水)に里親について学びました。児童養護施設で過ごす子どもの約6割が家庭での虐待によるものということが分かりました。また里親は、①養育里親(一定期間あるいは、自立できるようになるまで養育する) ②専門里親(重度の虐待を受けた子や障がいのある子を養育する) ③養子縁組里親(普通養子縁組・特別養子縁組) ④親族里親(両親が不在や虐待等で代わりに祖父母や兄姉が養育する)の4つに分類されます。里親手当や生活費等も支給され、その他にも金銭面の支援もあります。また、里親さんへの精神的なケアも大切にされています。一人でも多くの子どもが、たくさんの幸せ感じながら過ごせるよう願っています。

第5回「乳幼児との遊び方～ふれあい遊び～」

講師：いわまつ保育園 荻野 裕子 先生

21日(金)に荻野先生に講座をしていただきました。私たちは、支援する(関わる)際『子どものため』と思い、つつい「自分でできることは自分でしなさい」「お友だちと仲良く遊べない子はおもちゃ使えません」などと言っていないか？それは一方通行の支援でしかありません。支援をする(関わる)上で大切なことは、①提案はするが、するかしないかはあなた(子ども)が決めてね、というスタンスでいる ②素を出しても大丈夫と思える環境を作る ③失敗や過ちをおかさない人間はいないと自他の不完全さを受け入れること、です。子どもにも人権はあります。「昔はこうだった」ではなく、支援者(子どもに関わる人)として、生涯学び続けることが大切です。



▲土坂先生



▲講座の様子

講座の様子▶



▲荻野先生

★8月の養成講座の詳細は裏面に掲載していますので、ご覧ください♪



7月援助活動の様子

オセロで対決♪



白 vs 黒!!



いない
いなーい



ばあっ♡

★インスタにも活動の様子を投稿しています★



7/5 茶話会

「笑い合うひと時が楽しかったですね。次回は、よりたくさんの人とお話しできればと思います♪」

